

最新  
現場事例  
4

# 山梨県北杜市

## 須玉小学校



洗面器コーナーは、コミュニケーションをやすく。



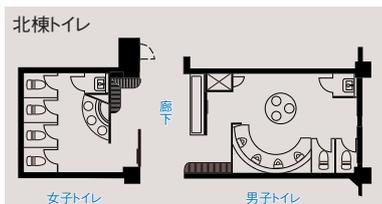
寒冷地のためトイレ内にはパネルヒーターを設置。廊下などには木を多用して温かみのある空間に。



女子の洗面器コーナーも丸みをつけて。プライバシーに配慮し、カウンターごとに細めの鏡を設置。



乾式の床にして清掃のしやすさ、衛生面を考慮。器具は冬場の寒さを考えて暖房便座に。



### DATA

竣工年月/2017年5月  
所在地/山梨県北杜市須玉町若神子200-2  
児童数/246名(2017年4月現在)  
施主/北杜市  
設計/馬場設計  
施工/建築:早野組・フカサワ共同企業体  
電気:中央電気・タキデン共同企業体  
設備:大栄設備



小便器の並びをR状にすることでプライバシーに配慮。

## 空間に曲線を取り入れ 会話がはずむトイレに

須玉小学校の校舎は昭和60年に建てられました。

「外壁の劣化をはじめ老朽化が著しいため、子どもたちの安全を最優先に考え、大規模改修を行うことになりました」(北杜市教育委員会教育部 加藤寿教育総務課長)

以前は、和式便器が多くて使えない子がいり、湿式の床のため、子どもたちは濡れるのをいやがって掃除も敬遠されがちでした。寒々しい雰囲気もあり、男子がブースに入っていると、冷やかしの対象になることも。そこで新しいトイレは、「開放的で明るく、会話がはずむような空間」を目指しました。



保健室にはシャワーとトイレを設えて。

「小便器のスペースにRをつけたら、洗面器コーナーは対面で会話ができるようにアイランド式にしました」(馬場設計 岩崎位仁設計室長)

壁の色は清潔感のある白を基調とし、窓には男女別に色分けしたガラスブロックを採用。大便器はすべて洋式化するとともに、トイレの混雑を避けるため、連



湿式で使いづらかった車いす用トイレは、使いやすく施工性や取替りがよいフラットカウンターのトイレパックに変更。

続洗浄が可能なフラッシュタンク式を選びました。  
生まれ変わったトイレについて浅川広夫校長は、「トイレは子どもたちが短い休憩時間に気持ちを切り替える大切な場。きれいだとか心がさわやかになりまじ、人間関係もより良好になるでしょう」と喜んでいきます。  
なお、北杜市では、今後3年をかけて小学校のトイレを100%洋式化する計画です。